令和 6 年シラス曳網調査結果
(第 9 報)

令和 6 年 11 月 20 日

福島県水産海洋研究センター

1　調査日

11 月 15 日

2　調査海域

相馬海域

37-48N 線上　141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 29m)、
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

3　調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網（船速 約 2kt)

4　調査結果

(1)表面水温(図 1)

17.9℃～22.6℃

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 42～143 尾（合計 298 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(9 月 20 日、4～50 尾、合計 103 尾)と比較し、増加しました。

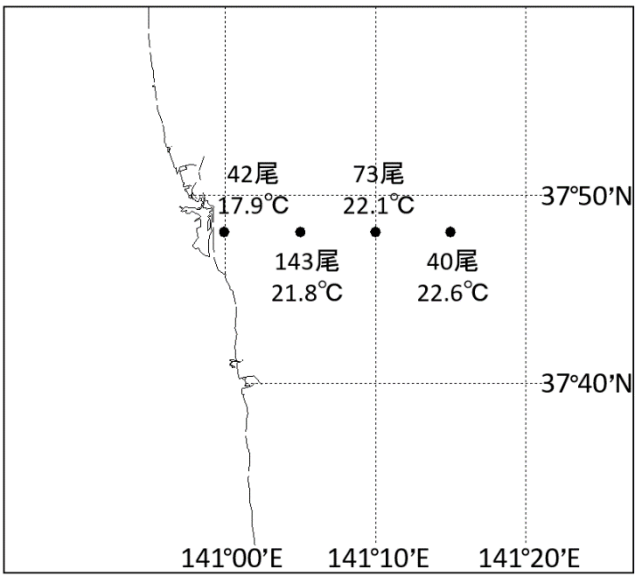


図 1　カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図 2)

全長範囲：6.8～28.3mm

全ての定点において、全長 10mm 前後の群のシラスが採集されました。

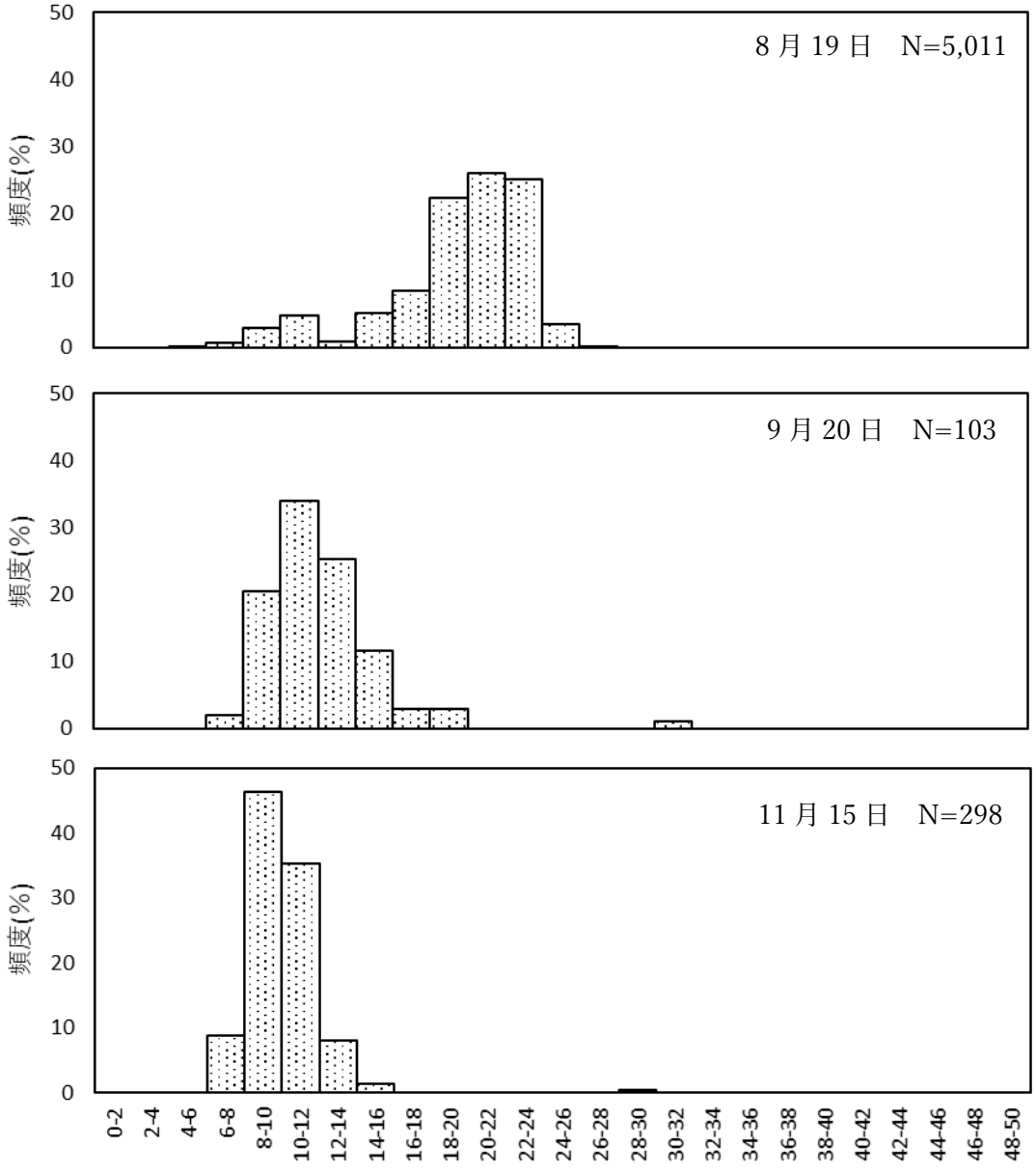


図 2　カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3)

令和 6 年 11 月のシラス採捕数は平成 18 年以降で 4 番目に多い結果となりました(図 3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図 4 に示します。

今年度はいわき地区では 6 月 3 日より、相双地区では 6 月 10 日よりシラス漁が開始され、10 月末までに約 631 トン(速報値)の水揚げがありました。

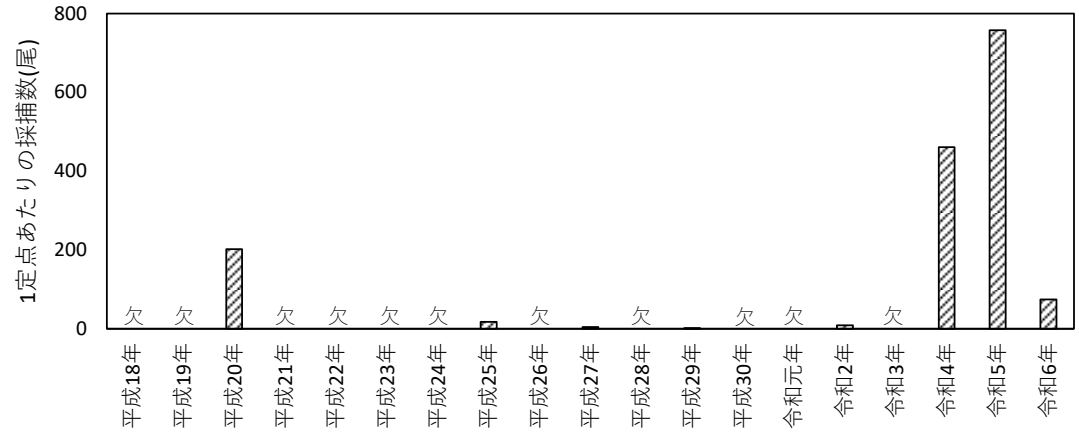


図 3　相馬海域における 11 月の 1 定点あたりの採捕数

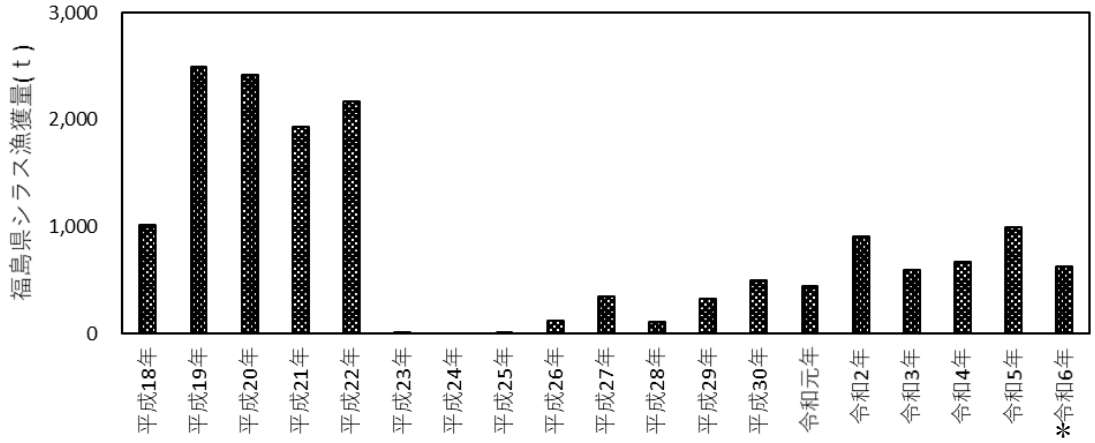


図 4　　福島県の年別シラス漁獲量

＊10 月 31 日までの速報値